

指 定 管 理 業 務 評 価 結 果 書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷運動公園、中山公園、玉島の森、水島中央公園、水島緑地 福田公園、真備総合公園、酒津公園軟式野球場・徒渉池、倉敷市倉敷体育館、倉敷市水島体育館、倉敷市粒江球技場、倉敷市粒浦球技場、倉敷市屋内水泳センター、倉敷市立倉敷武道館、倉敷市立児島武道館、倉敷市立水島武道館
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市四十瀬 4 番地 名 称 倉敷市スポーツ振興協会コンソーシアム 代表者 公益財団法人倉敷市スポーツ振興協会 会長 藤木 達夫
(3) 公の施設の所管部署	建設局土木部公園緑地課
(4) 評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は、防災体制・災害発生時の対応について、重視して評価を行った。 災害発生時の防災・危機管理マニュアルを整備しているだけでなく、職員間及び市の関係機関との速やかな連絡体制を構築するために、今年度から LINE Works を活用していることは高く評価できる。	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	令和 6 年度は、夏季の記録的な猛暑にも関わらず、年間利用者数が 120 万人を超え、施設利用料に於いては過去最高となりました。 災害発生時の対応として、有事の連絡ツールとしての活用を目的に LINE Works の ID が倉敷市防災危機管理室から付与されました。使用に慣れておくため、これを平時の施設不備や事故報告、及び防災訓練時の共有ツールとして運用を始めました。これにより、これまで初期情報を共有するために各公園での報告書類の作成、事務局を通じた担当課への報告に時間を要していたことについても、タイムリーな共有が可能となりました。更には、報告に係る事務の簡素化・効率化にも繋がっています。	

(3) アンケート結果の概要	昨年度に比べ全体満足度、教室イベント満足度が向上していた。熱中症対策に取り組みながら安全・安心な施設運営が実施できたことに加え、教室イベントについても今までの実績を踏まえ事業の体系化に努めることで継続利用者の増加につながり、利用者の満足度も向上しているものと考えられる。
----------------	--

3 施設の利用状況

	公園・施設名	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度対比
(1) 利用者数	倉敷運動公園 (倉敷体育館・倉敷武道館・酒津公園軟式野球場を含む)	352,574 人	384,987 人	109%
	水島緑地福田公園 (粒江・粒浦球技場を含む)	211,295 人	235,919 人	112%
	水島中央公園 (水島体育館・水島武道館を含む)	145,910 人	131,208 人	90%
	中山公園 (児島武道館を含む)	147,266 人	136,080 人	92%
	玉島の森	101,274 人	102,153 人	101%
	真備総合公園	70,457 人	68,990 人	98%
	倉敷市屋内水泳センター	143,753 人	149,754 人	104%
	合 計	1,172,529 人	1,209,091 人	103%
(2) 事業の内容	施設及び園地の維持管理・清掃業務、自主事業に係る業務、備品の管理等に関する業務、個人情報保護等に関する業務、事業計画・報告に関する業務、自己評価の実施業務			

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 793,428 千円 市からの指定管理料(委託料) 560,956 千円 利用料金 178,906 千円 スポーツ教室等参加料 16,556 千円 その他の収入 37,010 千円
----------------------	--

(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	7 9 2, 0 6 8 千円
	主な支出	
	人件費	3 7 5, 4 9 1 千円
	修繕料	4 4, 3 1 5 千円
	光熱水費・燃料費	1 5 2, 0 5 8 千円
	材料費・消耗品費	2 5, 9 4 6 千円
	使用料・賃借料	1 5, 9 5 9 千円
	手数料・委託料	9 0, 8 1 6 千円
	保険料	5, 1 0 0 千円
	減価償却費	1 6, 6 0 4 千円
	租税公課	4 2, 2 0 0 千円
	その他経費	2 3, 5 7 9 千円